

令和元年度行政評価 事務事業評価シート(平成30年度実績)

事務事業コード	050202010	予算コード	01083273	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B	
事務事業名	関空立国ショーケース事業			正規職員数	0.8	国庫支出金	23,967	有効性	引き続き、地域通貨システム事業、アンテナショップ事業については、継続していくことで、地域商社としての機能を発揮し、稼ぐ力をつけていく	
担当課	まちの活性化課			嘱託職員数	0	府支出金	0	B		
根拠法令等	市単独事業			臨時職員数	0.01	市債	0	効率性		C
				歳出(千円)		その他	38,429	妥当性		A
				人件費総額	7,067	一般財源	15,742	受益者負担		B
						減価償却費	0			
事務事業類型	運営事業			フルコスト(千円)	78,138	事業費	71,071	緊急性		A
実施手法	全部委託			市民1人当たりコスト(円)	777					事務事業実施内容
対象	対象数			活動指標	H30実績	公的関与		B		観光おもてなしプラザ「泉佐野 まち処」の運営、地域通貨「さのぼ」の本格稼働、EC活用による販路拡大、地域商社支援、QRトランスレーターによる多言語受入環境整備、MICE誘致に伴うユニークベニュー（ナイトタイムエコノミー）実証実験、調査業務等
その他				「泉佐野まち処」販売商品の年間新規契約事業者数（特産品協定関連）	18.0	実施主体・委託化		B		
インバウンドを含む観光客、市民、地域事業者				EC販路拡大事業者数	0.0	他の事務事業との関連		C		
事業の内容	地域通貨（さのぼ）カード会員数			21,140.0	成果指標	H30実績	透明性	B		
関西国際空港の玄関都市という地域特性を最大限活かし、本市の中心市街地である南海泉佐野駅周辺にある商店街の活性化を図るとともに、中心市街地の商店街を始め域内の消費の喚起、さらには日本の魅力を発信する。	観光おもてなしプラザ「泉佐野 まち処」開店日数			365.0	観光おもてなしプラザ「泉佐野 まち処」年間利用者数	15,737.0	財政健全化計画	該当なし		
	模擬ユニークベニューでの催事開催による調査回数			2.0	観光おもてなしプラザ「泉佐野 まち処」売上額	8,871,104.0	財政健全化の取組	該当なし		
	観光おもてなしプラザ「泉佐野 まち処」				観光おもてなしプラザ「泉佐野 まち処」に関連した消費効果額	8,871,104.0	改革改善プラン達成度	該当なし		
	地域通貨（さのぼ）発行ポイント数			10,504,704.0	地域通貨（さのぼ）発行ポイント数	10,504,704.0				
	模擬ユニークベニューでの催事参加者数			266.0	コスト指標	H30実績				
	観光おもてなしプラザ「泉佐野 まち処」				観光おもてなしプラザ「泉佐野 まち処」年間利用者1人当たりの事業費	926.5				
	地域通貨（さのぼ）カード会員1人当たりの事業費			1,568.2	地域通貨（さのぼ）カード会員1人当たりの事業費	1,568.2				
	模擬ユニークベニューでの催事参加者1人当たりの事業費			29,323.3	模擬ユニークベニューでの催事参加者1人当たりの事業費	29,323.3				
	事業の目的									
	外国人旅客数が増加による経済効果は大きいですが、その効果は宿泊施設や一部の大型店舗等と限定的なもので、中心市街地の商店街では日中は閑散としており、空き店舗も増えており、外国人宿泊者が多く行き交うものの、その多くが商店街の閉店した時間帯に訪れており、夜間営業をしている大型店舗等に集中している状況を改善するため、地域事業者への消費喚起を促す事業を展開									